

機動隊常駐糾弾

学生の自治破壊を狙う学長の

暴行問題5項目提案 固反

5項目、自詛閣サクルから

教評会・講議会へ抗議の声を！

機動隊常駐体制拒絶抗弾！ 7/14学長「暴行問題」
5項目提案決定、管理強化を許さぬ！

全市大の学友諸君！ 7/14評議会における学長の「暴
力対策」5項目提案は、現在既に9月以降実践に移され
学生会のチェック、換内体制、機動隊常駐と市と学生管
理体制強化が着々と進んでいる。田中会館闘争の過程で
見られたように学生無視の当局の姿勢は今春明治会館闘争
の圧倒的高揚に恐怖、硬化し、バリ封、内ゲバを口実と
して学生の自治活動系統に対する管理強化をかけてき
ている。

〈暴行問題に対する基本的対策について〉

①禁止事項の徹底 — 夜間立入り禁止

　　学外者の構内立入り禁止など

②告訴、告発 — 「百事」の際の学長の非常下权

　　④導入

③評議会、教授会の責任と併用 — 学生処分の強化

④地域住民に対する施策 — 路上警備の強化

⑤サークルBOXの管理強化

今日、政府の大衆取締強化にそれに反対する労働者階級
と毛頭とする民主勢力に対する政治反動を必然的に伴な
っていく。公務員労働者に対するストライキのハラス、秩山
差別裁判に見られる司法の反動化はその端的な表わしだ
ある。そしてその二つは学園においても同様である。「
受益者負担」の名の下に、二二教員毎年100枚以上の学

ビ值上げが強行され、学生生活破壊、教育の糾合均等は
全く名ばかりのものとなっている。更に、独占による大
学教育研究の私物化に攻撃は科学技術内容を極めて歪め、
学生の学習意欲と、その展望と確信を奪っている。そし
て我々の状況に対するせんとする学生の運動に対しては徹
底した弾圧を加えてきている。東京理大、工学院大、明
学大に見られる石襲学生を使ったオマズ自衛会 = 「御用自
衛会」デッキ上げ策動、自治会破壊策動、その他、トー
ドマンによるクラス討伐の妨害、テロ行為はじめ、政府
文部省は一方で新た管法の口舌上是をちらつかせるから
他方でそのむららしくとも言いつゝ管理強化を全国学園で
広げられてきている。市大における現状はまさにその市
大版としてあり、我々は断固として反撃体制を構築して
いかねばならぬ。

全てのクラスから教授会、評議会に抗議の声を空きつ
けよう

学友諸君、学長提案は現在各学部教授会で討議中とさ
れており、機動隊導入、常駐、学長の非常下权を合法化
せんとして、学生の徹底したチェック、口舌上学生処分の
強化、サークル活動に対する介入などを我々が断じて許
可などはできない。我々は皆、教育者としての責任
を全く放棄し、权力の行使で全てを取扱はんとする当局と
断固対抗する。これを後押す民衆諸君は9月よりも前倒
せぬはならぬ。

学友諸君、今春明治会館闘争の精神で踏み込
んで、全てのクラスから提案をまとめて提出し、
工自衛会は既に「有謀文」を評議会に提出し、威力を以て
いる。直ちに教授会、評議会に有謀の学生集中し、管
理強化に反対しよう。

民学同反セール

同盟全国組織「新時代」
NO.6
的評議会発行